

当初予算の主な取り組み		単位：万円
<みんなが元気になる健康福祉のまちづくり>		
新	産後ケア事業	44
新	児童発達支援事業所の設置	100
新	子育て世代包括支援センター事業	297
継	とうおん健康医療創生事業	598
新	生活困窮者等就労準備、家計改善の支援	772
<安全で快適な社会基盤のまちづくり>		
継	スマートインターチェンジの整備	17,277
新	自転車活用推進計画の策定	510
新	前川堤防線整備の調査(道路改良事業)	900
新	防災アプリの導入	333
新	消防団の施設整備事業	625
<創造性と活力に満ちた元気産業のまちづくり>		
継	南吉井地区ほ場整備事業	165
新	森林経営管理事業	1,361
継	「SAKURAselect」創出事業	438
新	重信川サイクリングロードの活用	35
新	工業団地整備計画の策定	781
<心豊かに学びあう文化創造のまちづくり>		
新	北吉井小北校舎附属棟トイレ改修	1,738
継	小中学校外国語指導助手派遣事業	1,952
新	地域と学校の連携・協働活動の推進	170
新	適応指導教室の運営	772
新	オリンピック・パラリンピック関連 行事、マスターズ開催事業	299
<みんなでつくる協働・自立のまちづくり>		
継	タウンミーティングの開催	113
継	アートヴィレッジとうおん構想の推進	2,160
新	マイナポイント利用環境の整備	426
新	公有財産個別施設管理計画の策定	881
新	第2次総合計画（後期基本計画）の策定	681

継…継続事業 新…新規事業

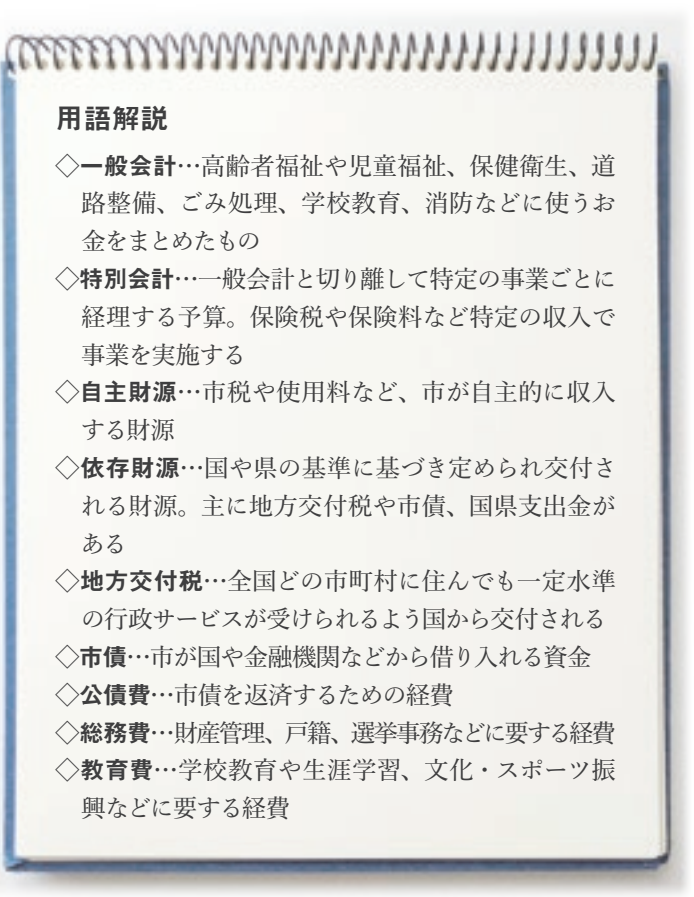
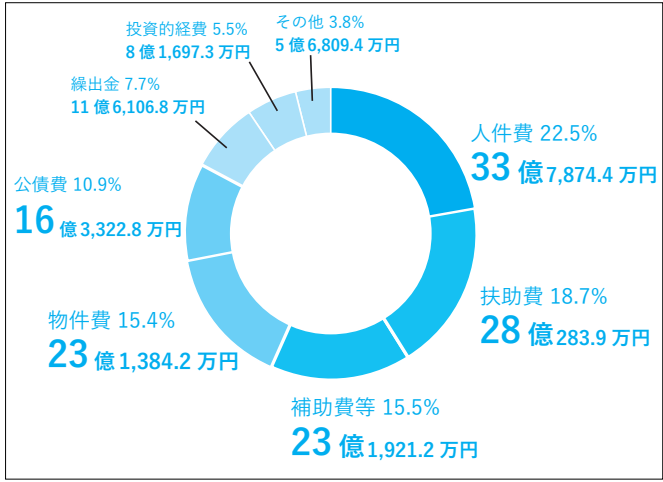


図3 歳出（性質別）



	本年度	前年度比
一般会計	149 億 9,400 万円	△ 2.6%
特別会計	国民健康保険	38 億 4,200 万円 8.5%
	後期高齢者医療	4 億 4,230 万円 6.6%
	介護保険	42 億 2,020 万円 4.1%
注1	小計	85 億 450 万円 △ 10.6%
公営企業会計	水道事業会計	16 億 2,330 万円 5.1%
	下水道事業会計注2	20 億 7,670 万円 —
	小計	37 億円 139.7%
合計	271 億 9,850 万円	2.8%

注1 前年度の特別会計予算は農業集落排水および公共下水を含む。
注2 下水道事業会計は今年度から新設したため、前年度比の記載なし。

一般会計 **149 億 9,400 万円**
特別会計 **85 億 450 万円**
公営企業会計 **37 億円**

図2 歳出（目的別）

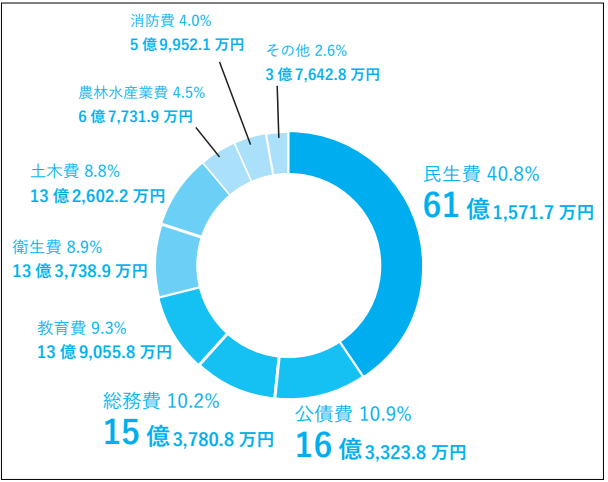
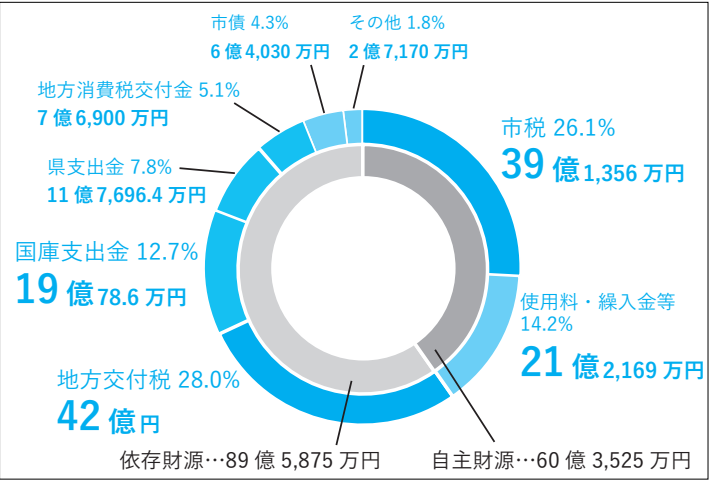


図1 歳入



歳入は自主財源が40.3%
歳入（図1）では、市が自主的に収入する自主財源が40.3%、国や県の基準に基づき交付される依存財源が59.7%を占めています。自主財源の柱である市税は、全歳入の26.1%を占め、39億1,356万円を見込んでいます。市債は4.3%の6億4,030万円を見込んでいます。

歳出は社会保障関係費が増大
少子高齢化による社会保障関係費、子育て支援関係費、老朽化が進む公共施設の更新経費など、今年度も引き続き多額の経費が必要です。

歳出を目的別（図2）に見ると、社会保障関係費の増大に伴い、民生費が全体の40.8%を占めています。次いで公債費が10.9%、総務費が10.2%、教育費が9.3%となっています。

性質別（図3）に見ると、昨年度と比べ子どものための教育・保育給付事業などにより補助費等が5億6,109万円（31.9%）、会計年度任用職員制度の開始に伴い人件費が7億5,461万円（28.8%）増加しています。また総合保健福祉センターや歴史民俗資料館収蔵庫の整備が完了したことなどから、投資的経費が8億7,141万円（51.6%）減少しています。

下水道関係事業が企業会計化
医療費や介護給付費の伸びにより、今年度の特別会計予算の規模は計85億450万円です。

農業集落排水特別会計及び公共下水道特別会計は、長期の安定経営を目的に特別会計から企業会計へ移行しました。水道事業会計と新設した下水道事業会計を合わせた企業会計の予算規模は37億円です。水道事業会計は、田窪工業団地の整備に伴う配水管布設などにより、前年度当初予算より7,950万円増加（5.1%増）しています。

下水道事業会計は、特別会計からの移行により新たに発生した減価償却費などの経費を加えた20億7,670万円の予算規模となっています。

◇その他の事業等については、「市民向け予算書」をご確認ください。